

成果指標				
成果指標	設定しない			
指標設定の考え方	送迎サービスの利用は、各施設で実施される介護予防事業の実施数に左右される。介護予防事業の利用促進を目的とする送迎サービスであり、その利用率と介護予防事業の成果は一致しないため、設定しないものとする。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	
目標	0	0	0	0
実績	0	0	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5	A
		市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	5	A
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	5	
	効率性	手段の最適性	5	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	介護予防事業を実施する施設への送迎サービスとして積極的に活用されており、今後もその必要性は高いものと判断している。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	A
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	5	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	老人憩いの家などの利用者のための送迎サービスである。個人の移動手段を持たない高齢者には大切なサービスである。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題